

2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社ブランジスタ 上場取引所 東
 コード番号 6176 URL <https://www.brangista.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 恵了
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石原 卓 TEL 03-6415-1183
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	2,295	40.4	290	95.2	290	95.5	199	93.9
2022年9月期第2四半期	1,634	—	148	—	148	—	102	—

（注）包括利益 2023年9月期第2四半期 201百万円（94.2%） 2022年9月期第2四半期 104百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	14.31	—
2022年9月期第2四半期	7.38	7.38

（注）1. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年9月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	3,636	1,868	49.9
2022年9月期	2,571	1,616	62.8

（参考）自己資本 2023年9月期第2四半期 1,814百万円 2022年9月期 1,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2023年9月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	22.0	400	56.3	400	54.9	250	40.0	17.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ブランジスタエール、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期2Q	14,575,300株	2022年9月期	14,575,300株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	654,988株	2022年9月期	654,988株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期2Q	13,920,312株	2022年9月期2Q	13,919,912株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、ウィズコロナの下で景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しております。一方、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっていることや、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、既存サービスの「電子雑誌」「ソリューション」に加え、2022年10月よりタレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」を開始し、業容拡大に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、電子雑誌売上が好調に推移したことに加え、「アクセルジャパン」の契約企業数が順調に増加し、売上・利益の拡大を牽引いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高2,295百万円（前年同四半期比40.4%増）、営業利益290百万円（同95.2%増）、経常利益290百万円（同95.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益199百万円（同93.9%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、「アクセルジャパン」の提供を開始したことに伴い、報告セグメントを従来の「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントから、「メディア事業」「プロモーション支援事業」「ソリューション事業」の3区分に変更しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであり、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

[メディア事業]

メディア事業では、無料で読める電子雑誌を制作・発行し、クライアント企業へ当社電子雑誌への広告掲載や、電子雑誌の制作受託といったサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、主力電子雑誌「旅色」の広告売上が増加し、電子雑誌売上が好調に推移いたしました。観光・外食需要の回復を背景に、地方自治体及び各地域の企業からの広告掲載売上が増加いたしました。

以上の結果、メディア事業は、売上高1,207百万円（前年同期比20.2%増）、セグメント利益138百万円（前年同期比26.9%増）となりました。

[プロモーション支援事業]

プロモーション支援事業では、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」を提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、「アクセルジャパン」の契約企業数が順調に増加し、売上高、セグメント利益共に好調に推移いたしました。全国の中小企業にご活用頂いており、また、中小企業庁が実施する広報事業に採用され、事業拡大の追い風となっております。

以上の結果、プロモーション支援事業は、売上高448百万円、セグメント利益147百万円となりました。

[ソリューション事業]

ソリューション事業では、ECサポートやウェブサイト制作・運営等の各種ソリューションサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、「ブランジスタ物流」等のECサポート関連の売上高が堅調に推移したものの、ウェブサイト制作・運営等の売上高が減少いたしました。

以上の結果、ソリューション事業は、売上高501百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益80百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,636百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,064百万円の増加となりました。当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

(流動資産)

流動資産は2,918百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,107百万円の増加となりました。これは主に、銀行からの借入や顧客からの入金により現金及び預金が934百万円増加したことや、売掛金が312百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は717百万円となり、前連結会計年度末に比べて42百万円の減少となりました。これは主に、繰延税金資産の減少により投資その他の資産が53百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は1,285百万円となり、前連結会計年度末に比べて464百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が108百万円増加したことや、契約負債が108百万円増加したことに加え、業容拡大に伴い買掛金や未払金等の仕入債務が増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は483百万円となり、前連結会計年度末に比べて348百万円の増加となりました。これは、銀行から長期借入を行ったことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は1,868百万円となり、前連結会計年度末に比べて251百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が199百万円増加したことに加え、(株)ブランジスタエール設立に伴い非支配株主持分が53百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は1,891百万円となり、前連結会計年度末に比べて934百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は451百万円（前年同四半期は96百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益290百万円の計上があったことや、顧客からの入金による契約負債の増加108百万円があったことに加え、消費税等及び法人税等の還付があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は22百万円（前年同四半期は16百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出18百万円があったことに加え、敷金の差入による支出4百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は506百万円（前年同四半期は143百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出143百万円があったものの、新たに長期借入を行ったことによる収入600百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月14日の「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。新型コロナウイルス感染症の影響については、新たな感染拡大により経済活動が大幅に停滞しないことを前提としております。

通期連結業績予想に対し、第2四半期連結累計期間の業績は、営業利益、経常利益共に、対業績予想進捗率が72.5%と好調に推移したものの、第3四半期連結会計期間以降は新入社員が増加し、一時的に販管費の増加が先行することに加え、「アクセルジャパン」販売拡大のための広告宣伝費の増加を見込んでおります。

今後の見通しにつきましては、新入社員の育成状況、広告宣伝費の費用体効果及び、その他の事業環境を注視し、開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	956,713	1,891,027
売掛金	620,346	933,182
前払費用	57,870	90,377
その他	218,424	54,496
貸倒引当金	△41,912	△50,373
流動資産合計	1,811,442	2,918,710
固定資産		
有形固定資産	23,495	28,878
無形固定資産		
その他	47,310	52,887
無形固定資産合計	47,310	52,887
投資その他の資産		
繰延税金資産	645,575	588,005
その他	44,150	48,211
投資その他の資産合計	689,725	636,216
固定資産合計	760,532	717,982
資産合計	2,571,974	3,636,692
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,117	183,765
短期借入金	331,111	439,344
未払金	96,151	158,695
未払法人税等	6,771	36,472
契約負債	217,951	326,195
預り金	45,279	10,780
賞与引当金	—	58,955
その他	8,389	70,917
流動負債合計	820,772	1,285,126
固定負債		
長期借入金	135,000	483,433
固定負債合計	135,000	483,433
負債合計	955,772	1,768,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,052	621,052
資本剰余金	1,021,448	1,021,448
利益剰余金	462,948	662,168
自己株式	△493,361	△493,361
株主資本合計	1,612,087	1,811,308
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,114	3,255
その他の包括利益累計額合計	4,114	3,255
非支配株主持分	—	53,569
純資産合計	1,616,202	1,868,133
負債純資産合計	2,571,974	3,636,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	1,634,727	2,295,207
売上原価	466,751	688,522
売上総利益	1,167,975	1,606,684
販売費及び一般管理費	1,019,415	1,316,639
営業利益	148,559	290,044
営業外収益		
受取利息	10	12
受取給付金	—	308
還付金収入	1,804	734
雑収入	393	52
為替差益	—	262
営業外収益合計	2,208	1,370
営業外費用		
支払利息	2,035	1,134
為替差損	239	—
営業外費用合計	2,274	1,134
経常利益	148,493	290,281
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	148,493	290,281
法人税、住民税及び事業税	2,174	29,922
法人税等調整額	43,587	57,569
法人税等合計	45,761	87,492
四半期純利益	102,731	202,789
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	3,569
親会社株主に帰属する四半期純利益	102,731	199,220

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	102,731	202,789
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,271	△858
その他の包括利益合計	1,271	△858
四半期包括利益	104,003	201,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,003	198,361
非支配株主に係る四半期包括利益	—	3,569

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	148,493	290,281
減価償却費及びその他の償却費	13,309	14,933
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△83,335	58,955
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,841	7,883
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	12,442	△313,246
前払費用の増減額 (△は増加)	△2,928	△32,507
仕入債務の増減額 (△は減少)	856	69,073
前受金の増減額 (△は減少)	△46,996	—
契約負債の増減額 (△は減少)	133,244	108,244
未払金の増減額 (△は減少)	△1,107	55,125
預り金の増減額 (△は減少)	648	△34,499
未払又は未収消費税等の増減額	△80,325	154,814
その他	59,517	45,608
小計	149,978	424,668
利息の受取額	10	12
利息の支払額	△2,035	△1,134
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△51,646	27,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,306	451,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,875	△7,810
無形固定資産の取得による支出	△8,179	△10,196
敷金及び保証金の差入による支出	—	△4,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,055	△22,644
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△143,333	△143,333
自己株式の処分による収入	150	—
連結子会社設立に伴う非支配株主からの払込による収入	—	50,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,183	506,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,113	△774
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△61,818	934,314
現金及び現金同等物の期首残高	1,433,838	956,713
現金及び現金同等物の期末残高	1,372,020	1,891,027

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、(株)ブランジスタエールを新たに設立し、連結の範囲に含めております。

なお、当該連結の範囲の変更は、当第2四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えることが確実であると認められ、影響の概要は、連結貸借対照表の総資産の増加、連結損益計算書の売上高等の増加であります。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	メディア事業	プロモーション 支援事業	ソリューション 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,004,118	—	512,452	1,516,571	118,155	1,634,727	—	1,634,727
外部顧客への売上高	1,004,118	—	512,452	1,516,571	118,155	1,634,727	—	1,634,727
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	46,704	46,704	△46,704	—
計	1,004,118	—	512,452	1,516,571	164,859	1,681,431	△46,704	1,634,727
セグメント利益	109,471	—	84,343	193,814	46,706	240,521	△91,961	148,559

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、(株)Crowd Labにおけるキュレーション事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△91,961千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	メディア事 業	プロモー ション 支援事業	ソリュー ション 事業	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	1,207,328	448,537	501,699	2,157,566	137,641	2,295,207	—	2,295,207
外部顧客への売 上高	1,207,328	448,537	501,699	2,157,566	137,641	2,295,207	—	2,295,207
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	39,659	39,659	△39,659	—
計	1,207,328	448,537	501,699	2,157,566	177,300	2,334,866	△39,659	2,295,207
セグメント利益	138,868	147,451	80,797	367,117	33,544	400,662	△110,617	290,044

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、(株)C r o w d L a bにおけるキュレーション事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△110,617千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において(株)ブランジスタエールを設立し、「アクセルジャパン」を開始したことに伴い、業績管理体制を見直し、報告セグメントを従来の「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントから、「メディア事業」「プロモーション支援事業」「ソリューション事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。